

Table with columns: 事務事業名, 政策名, 施策名, 関連個別計画, 法令根拠, 予算科目, 事業概要. Includes details for '空き家バンク事業' and '自然と潤いがある安全快適なまちづくり'.

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

Main performance indicator table with 7 sections: ①手段, ②対象, ③意図, ④結果, ⑤活動指標, ⑥対象指標, ⑦成果指標, ⑧上位成果指標. Includes a detailed table for (2) 総事業費の推移.

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

Table with 2 columns: 質問, 回答. Contains three questions regarding the start of the project, changes in situation, and stakeholder opinions.

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 空き家増加に伴う防災・防犯・環境衛生上、深刻な課題と人口減少に伴う課題の対策の一つとして、空き家を有効活用することは、「安全で快適な住まい・まちづくり」の施策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 空き家の有効活用を図ることは、空き家増加に伴う様々な問題と人口減少に伴う課題の対策の一つであり、行政が主導して推進することは妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市内全域の空き家を登録対象とし、また、市内に移住・定住する方を対象とした支援策であるため、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 登録申請された所有者は、今後の維持管理や相続等を考慮し手放したいとの理由から、多くが売買希望であるのに対し、空き家の利用希望者は、一戸建て住宅への居住を望むが、予算や今後の相続等を考慮し、多くが買値や低額な売値を希望されるなど、両者の意向が、マッチングしない状況にある。 そのため、成果向上には、平成31年度未実施の意向調査結果を分析し、利用者のニーズに沿った物件の新規登録及び既売買登録所有者への価格見直しや賃貸併用を促すことを含めた周知強化の必要がある。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 急激な空き家の増加や人口減少問題は、行政運営のみでなく、防災・防犯・環境衛生上、地域の生活環境に深刻な影響を及ぼすとともに、地域のコミュニティの維持も困難にする問題である。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？ ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 空き家バンクに係る費用は、必要最小限の予算で対応しており、削減余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 空き家バンクに係る人件費用は、必要最小限の人員で対応しており、削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市内全域の空き家を登録対象とし、また、市内に移住・定住する方を対象とした支援策であるため、公平、公正である。

3. 改革・改善方向の部

<p>(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（<input type="checkbox"/>：目的妥当性 <input type="checkbox"/>：有効性 <input type="checkbox"/>：効率性 <input type="checkbox"/>：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続</p> <p>平成31年度実施の意向調査を分析し、空き家所有者に対して利用者のニーズを周知するとともに価格設定の見直しを促す等の対策が必要である。</p>	<p>(3) 改革・改善による期待成果</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
<p>(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？</p> <p>市外への空き家利用希望者への周知が課題であるため、全国版空き家バンクの周知及び活用を図るほか、その周知策について、調査研究を進める。</p> <p>また、平成31年度未実施の意向調査を分析し、所有者・利用者のニーズに沿った空き家バンクの運営や補助を含めた制度設計について調査研究を進める。</p>																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不十分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <p>①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>																								
<p>(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充</p> <p><input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善</p> <p><input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p>	<p>(4) その他2次評価会議で指摘された事項</p>																							